

海老名市立柏ヶ谷小学校 学校運営協議会 議事録
(令和7年度 第2回)

- 1 日時** 令和7年10月10日(金) 11:50～12:20
- 2 場所** 海老名市立柏ヶ谷小学校 会議室
- 3 出席委員** 山崎久男委員長、萩原正規副委員長、森山輝夫委員
森田博明委員、羽太勇委員、齊藤裕子委員、鈴木佳子委員、
小林麻衣委員、石井友紀(校長)、高橋一子(教頭)
青山明裕(教務主任)

10:30～【音楽会参観】第2部(2.4.6年生)

11:50～【協議】(1) 学校の様子について
(2) 社会に開かれた教育課程について
(3) その他

4 協議の内容(進行: 山崎会長)

石井校長: 1年生から6年生までの演奏を見ていくと、6年間の成長を感じていただけると思う。子どもたちは一生懸命練習して、今日の日をドキドキしながら迎えた。どの学年も練習の成果を発揮して頑張れた。今年は、運動会より先に音楽会を行った。その感想を子どもたちに聞き、学校運営を進めていきたい。本日は、「社会に開かれた教育課程表」の資料を基に、より地域と学校とが手を組んで一緒に学校づくりを進めていくためにどのような連携ができるかということについて、ご意見を頂戴したい。

山崎会長: まずは「社会に開かれた教育課程表」について、学校から説明をお願いしたい。

青山教務: 「社会に開かれた教育課程表」は、柏ヶ谷小学区でどのような協力体制があるのか整理したものである。資料1はこれまでの編成表で、資料2は今年度以降の予定表となっている。大きく違う所はPTAの部分である。今年度からPTAは本部のみの活動となっているため、活動が精選されて3本に絞られている。もっと地域と共に教育活動が進めていきたいと思っているので、連携の仕方についてご意見をいただきたい。

山崎会長: 「社会に開かれた教育課程表」を見て、何か質問はあるか。

森田委員: 4月に行われていた交通安全教室だが、交通安全協会の解散に伴い協力団体がいなくなると思うのだが、どのような形になっているのか知りたい。また、4月に開催できなかった理由を知りたい。

石井校長: 日程については、交通指導員さんの派遣の関係で、教頭会で調整されている。指導員さんのほかに、シニアクラブとゆめ倶楽部のみなさんにおいでいただいている。

山崎会長: 学校と地域との「つながる・つなげる」について、私なりに感じたことを黒板

に書いてみようと思う。



学校を富士山だとすると、1合目は「学校に」行こう、学校を見ようという段階。ここでいう「学校」とは、施設・子どもたち・先生方・PTAなどのこと。今日の音楽会への参加は1合目にあたる。2合目は、「学校で」何かをやろうという段階。例えば、体育館でバレーボールをしたり、運動会をしたり、祭りをしたりするということ。空いている教室を使って高齢者の方が編み物をしたり、会議をしたりして教室を開放している所も過去にある。3合目は「学校と」である。ここが、教育活動に関わる部分となる。このように順番に登っていかないと、急に3合目で学校の取り組みを一緒にやりましようとはいかない。普段から、段階を踏まえて何か連携できないか、取り組みはできないかということを考えていなくてはならない。

柏中では創立記念の式で「生徒と一緒に歌いませんか」と地域の人を募集した。また、大会で入賞した結果の横断幕が張ってある。こういうことを地域の人が話題にしていくことで、学校の教育活動に携わるきっかけになるのではないか。本校の職員室前に学年だよりや学校だよりが貼ってある。学校に来た時に、「こういうことやっているのか」と分かる。選挙の時に地域の方が学校に来るが、こういう機会に、普段教室に貼ってある児童の作品などを会場付近にさりげなく貼っておくというのも、学校を知ってもらうことになる。こうやって学校に慣れてくるのだと思う。何合目だったら学校に関われるのかを意識して活動できるとよいだろう。例えば、下校の見守り隊は、2合目と3合目のあたりかなというように。1合目、2合目、3合目という視点をもって、連携の取り組みを考えてみたらどうだろうか。

今日の音楽会の感想だが、会場での校長先生の素敵なお話にすべて網羅されているなと思った。地域の方も聴いてみたいという方がいるかもしれない。そういう方々に声をかけられないかなと思う。

萩原委員：「社会に開かれた教育課程表」に本当は載せたかったが、時間等の都合で記入できなかった項目があれば教えてほしい。

青山教務：「まちたんけん」をやっているが、もっと地域の色々な職業を見学したり、地域の方々と交流を深めたりできたらよい。うまく連携や調整を図るのがなかなか

か難しい。

山崎会長：資金や人材が揃えばやってみたいことや見学させたい場所等について、まとめてみてもよい。

森田委員：この前ふるさと祭りを行ったが、今年はたくさんの柏中生が手伝いに来てくれた。基本的に準備等に携わっているのは高齢者ばかり。非常に助かり、ありがたかったし、頼もしかった。小学生も地域の行事に積極的に参加してもらいたい。11月に炊き出し訓練がある。非常時に備えた勉強にもなるから、ぜひ参加してもらいたい。前回、登校時の見守りがなくなるということで、自治会の会員に朝の見守りを募集したが、応募は1件もなかった。自分がやらなくても誰かがやると思い、責任感が薄くなっていると感じる。私は4月から横断歩道に立っているが、立ってみて、やはり見守りは必要だなと思う。改めて地域の皆さんに声をかけてみようと思う。先生方も、時間があれば地域の行事に参加してもらいたい。

石井校長：ふるさと祭りに参加させてもらい、中学生が働いている姿を見た。まだ小学生は働けないが、中学生の働く姿を見るだけでもいいなと思った。次は自分たちがやるのだ、担い手になるのだという意識がもてたらよい。

山崎会長：「社会に開かれた教育課程表」の縦軸は学年だが、ここに自治会や団体の名前を入れ、横軸に1年間どのようなことをやっているのかをまとめてみると、学校は、連携の参考にできるのではないか。特に子どもたちと関りがある部分には印を付けると、活動のきっかけが見えてくると思う。ただ、その表を誰が作るのが課題だ。

森田委員：それぞれの団体がどのようなことをしているのか、見える化できてよい。

小林委員：PTAから3点連絡がある。1点目は通学路改善要望について。スカイレンタルビデオ店から柏中までの道を一方通行にできないかという意見が保護者からあがっている。2点目が子ども110番の家について。現在、協力者名簿を作成中である。誰も住んでいないお宅等があるので、登録家庭について在宅確認をしている。今までは校外委員がやっていたが、本部でやっているの、今後継続できる形を考えながらやっている。3点目は、来年度の本部役員の選出について。会長を、二人が連名でやりたいという声があがっている。本校では前例がないので慎重に審議を重ねている。みなさんはどう思われるか伺いたい。

森田委員：私は25年前にPTA会長を務めた。PTAは組織として必要だと思う。時代も違うし、事情もあるだろうが、会長はできれば一本化して絞ってやった方がよい。110番の家は減っているのか。

小林会長：減ってはいないが、登録いただいてから時間がたち、お住まいになっていない方や連絡がつかない方がいらっしゃる、確認中である。

石井校長：一度掲げた看板をずっと付けっぱなしだと思う。実際には誰も住んでいない家に逃げ込むことはできないので、本部さんに確認していただいている。

森田委員：最近あった、教員による盗撮の問題や児童が水筒に睡眠薬を入れた問題について柏小の対応を伺いたい。

石井校長：盗撮の件については、個人のスマートフォンを教室に持ち込まないことや子どもと個人的なつながりをもたないことを、管理職から再三注意をしているが、今回の件を受けて改めて注意をしたい。

山崎会長：本日の話題は、今後、時間をとって協議したい。

5 事務連絡

石井校長：次年度の第2回学校運営協議会の方向性についてだが、柏ヶ谷中学校区の学校が集まって一緒に開催する可能性がある。

青山教務：第3回学校運営協議会は2月11日（水・祝）10時から行いたい。

高橋教頭：第62回秋季運動会のご案内を机上に置かせていただいた。

以上